

# 袈裟丸山山行報告

【山行日】2020年 5月 31日(日) 曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、青柳、安西、  
石澤、島田、藤原、福島

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=折場登山口

P7:40/8:00 ~ 賽の河原 8:55/9:05 ~ 小丸山

9:50/10:00 ~ 袈裟丸山 11:00/11:35 ~ 小丸山

12:35/12:45~ツツジ平 13:25/13:30~折場登山口 P14:15/14:25=道の駅「くろほね」15:05/15:15=  
岩舟支所 P16:35



5月20日に今回のコースを計画したが、雨で中止になった。2018年5月27日にヤマツツジとシロヤシオ、ミツバツツジのコラボが素晴らしかった事を思い出し、袈裟丸山をもう一度計画した。



平日山行なので駐車場は大丈夫だろうと、岩舟支所を6時に出発した。国道50号線を前橋方面に向かい、桐生市から国道122号線を進み道の駅「くろほね」でトイレを済ませる。草木ダムの先の沢入から林道西山小中線に入り、20分程で折場登山口駐車場に着く。すでに車が数台止まっていたが、トイレの前に止めることが出来た。準備を整えながら、女性達は交代でトイレを済ませる。ストレッチを済ませたら出発し、案内板脇から急な階段の登山道を登って行く。尾根上に出ると緩やかな登りとなり、新緑の中気持ちよく歩ける。しばらく登ると笹の道になり、視界が開け前方にはこれから登る弓の手尾根、奥には目指す袈裟丸山が見られる。展望が良い小ピークで休憩を取り、衣服調整と水分補給を行う。笹尾根を過ぎると樹林帯の道になり、このあたりはツツジ平と呼ばれ前回はヤマツツジやシロヤシオが咲き競っていたが、今年はほんの少ししか花が見られない。ここを過ぎると賽の河原に出て、石地蔵や岩を積み上げた塔が沢山並び、独特の雰囲気漂う場所だ。塔ノ沢コースとの合流地になっており、休憩を取ってキーウイフルーツをいただく。緩い下りを進むとカラマツ林になり、芽吹いたばかりのカラマツがとても美しい。雨量計を過ぎると下りとなり、このあたりはヤマツツジやシロヤシオが見られるはずだが、ヤマツツジが少し見られるだけである。

少しガッカリしたが気を取り直して登ると、まもなく小丸山に着いた。



ここからは眺望が良く、日光連山をはじめ県境尾根の皇海山や庚申山が望める。小休止しメロンとクリームどら焼きをいただき、エネルギーを補給する。小丸山からは石が露出した急坂を下り、白



樺林の美しい平坦な場所に出る。

ここには黄色いドーム状の避難小屋があり、簡易トイレが設置されている。笹と樹林の道を登り、ダケカンバの樹林帯を過ぎると前袈裟丸山への急登が始まる。ロープや木の根に掴まりながら登り、前方が開けて笹の尾根に出ると緩やかな登りとなり、まもなく一等三角点が置かれた前袈裟丸山山頂に着く。樹林に覆われているが、樹間から残雪の上州武尊山が望めた。記念写真を撮ったらランチタイムとし、お湯

を沸かして各自持参したカップ麺やスープを作る。手作りのチャーシューや厚揚げの煮つけ、漬物などが並びおにぎりと一緒にいただく。

ランチが済んだら山頂の北側に行き、シャクナゲの群生地を見るが今年はシャクナゲの花付も悪く、ほんの少しの花しか見られなかった。山頂まで戻りザックを背負って下山開始する。下山は往路を戻すが、余裕が出たせいか登りで気づかなかった花が目に入るようになる。

避難小屋から登り返した小丸山で休憩し、デザートプリンをいただく。ここからもアップダ

ウンを繰り返して下り、つつじ平の展望台で休憩して疲れた足を休める。展望台からは下り一方になり、展望が良い笹尾根を一気に下り無事に折場登山口に下山する。靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につき、途中道の駅「くろほね」に寄ってお土産を買い、予定より1時間早く岩舟支所に帰着出来た。

